



海水浴に賑う小名濱海岸

納涼音楽會や歌謠曲

花火大會で空前の盛況豫想

海の日の二十日から三日間開く小名濱町の海まつりは既報の如く表彰式や舞踊、假裝行列やスポーツに海をあげて盛大にまつりの花を咲かせるが更に次の二項目を主な行事に追加することに決めた。

港まつり

大型船を廻港公開

終戦後初に見る風景

小名濱港から釜石、室蘭兩港への利用価値を宣傳するため(製鐵原料のドロマイトや鐵)に二十日の朝早く千五百トン船を一手に發送している旭運の貨物船を特別に廻港し、旭運船會社(東京都千代田区)の地方員へ開放することになった(神田鐵倉町)では今度の港まつり、千五百トン級の貨物船が、ついに双手をあげて贊成、同時に積荷のため入港するの(可)港まつりの費用の一部には終戦後これが初めてである(と寄附を申出)一方小名濱商

人命救助者を表彰

小名濱海上保安署では二十日の海の日午前十時より次の(如)第二(警備)海上保安本部副部長の表彰状を贈呈する。

【表彰】△平塚丸(茨城縣平塚市小川)△二所所有底曳船(三十二ト)△一連難した小名濱港の大丸丸乗組員十(一名)人命を救助した。

不良兒鑑別

該所より五名の専門家が來朝、被鑑別不良兒童は勿來一名、山田村一名川部村一名名計五名、いずれも保護者同伴町役場に於て不良兒童の鑑別し今後の育成方針が決まればが實施される。鑑別者は縣相の管である。

自轉車の鑑札付換

十八日から五年振り

平市役所では次の日割で自轉車鑑札の付換を行う、この鑑札は五年ぶりの復活で一個五(十)円、盗難後防式になつて(る)便利なもの(括弧内は交付(場所))

△十八日、二、三、四區(公會堂) △十九日、五、六、七、八、九、十區(同) △二十日、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十日(同) △二十一日、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十日(同)

降電被害

專賣管内

去る九日夕刻雨を襲つた降電被害に關して見ると最も被害のひどかつたのが、瀬波村方面で約七反歩のタバコが折損脱落、トウモロコシ等も被害を蒙り、トウモロコシ等は口を裂けてやられて、内(部)が高出り高下馬場部落地方で約一反五畝歩のタバコが毀損を受けたことが判明被害者(バコ)への賠償金として一(薄)下地を施すこととする(事だ)といつてゐる。

大學生數名を表彰

珍藝を公開

たかつき保育園で國學院大學兒童文化研究會會員十同級生十數名は二十、二十一日の兩日平市たかつき保育園で巧みな珍藝の披露、指人形、たどり人形や童謡をして見せることになつたが、他の児童たちも見に来るよう希望してゐる。

少年家出

植田町金山農學子養護校第(一)は去る十一日午後外出したまま其日は歸せぬので家族の者は學校を初め心當りも捜索したが十四日になつても姿を見せぬので十五日朝捜索方を願ひ出た。

十七日より 酒場のママお尋ね (三益)は二十年 前手離した我が子 田をかくまはるは上原と洋酒 密鑿をしてたがサブ(春日) と春吉に奪はれる、サブは 春水を追出せとお雪を誹謗するがお互に一本氣な性格に惹かれる、上原が殺され容疑者 春吉は有利な証言をすれば二十年前に預つた子の居場所を知らせたいといふお雪は驚かされる、春水にリンチを加ふるサブの 銃口の前にお雪は立ちあがり、 春水はお雪がサブの母である事を告げるがサブは母を捨てた事を告げるとお雪は射つてお雪は 二十年の辛月を思い返す。

折詰仕出し 江戸前 世界館前 電話一〇六三番

折詰仕出し 江戸前 世界館前 電話一〇六三番

折詰仕出し 江戸前 世界館前 電話一〇六三番

折詰仕出し 江戸前 世界館前 電話一〇六三番

浮袋 一六〇圓より 海水浴に是非!!

海水浴に是非!! 海水浴に是非!!

弘進 三馬弘進 ゴム靴 ゴム合羽

弘進 三馬弘進 ゴム靴 ゴム合羽

弘進 三馬弘進 ゴム靴 ゴム合羽

眼科 安田醫院 平市紺屋町 電話 1225

セトモノ 食器は 眞夏の食欲をそそる

明治ナミロ 全部當る 景品付賣出し

16日 忘れじの巴里 一人の男をめぐって二人の女性が抱く 戀愛とは? 愛欲心理の微妙な面も感然たる關係を描く

17日より 拳銃の前に立つ母 三益愛子 岡田英次 春日俊次 星美千子

世界館

平文化

平文化

平文化

平文化